

障害者歯科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	野本 たかと（障害者歯科学）

学修目標 (G I O) と単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：2単位 ・学修目標 (G I O)：社会環境が繁栄される障害の概念は時の流れに伴って変化するため多種多様化している。医療の発展によって、障害児者数は増加しており、重症化や高齢化などが指摘されている。全身疾患と口腔機能は密接な関係であるため、全身機能の維持に口腔の健康は欠かせない。こうしたことから、求められる歯科医療はより全身を考慮した口腔機能の維持・向上につながるものへとパラダイムシフトしている。さらに人権および医療経済を配慮し、地域包括ケアシステムが推奨されており、歯科医師が中心的役割を果たす機会も増えてきている。そのため、医療系だけでなく、行政や教育分野などの職種とも連携をとる必要がある。幅広い分野における知識および、遭遇するであろう多様な問題を解決する能力を修得する。
担当教員	野本 たかと、伊藤 政之、遠藤 眞美、梅澤 幸司、田中 陽子、三田村 佐智代
教科書	スペシャルニーズデンティストリー第2版 日本障害者歯科学会編集 医歯薬出版株式会社
参考図書	障害者歯科ガイドブック 森崎市治郎、緒方克也、向井美恵 編集 医歯薬出版株式会社 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション 向井美恵、山田好秋 編集 医歯薬出版株式会社
評価方法 (E V)	授業期間内に行う2回の平常試験(2回合計で100%)を評価点とする 平常試験はそれぞれの授業担当者の担当時間数に比例した点数配分である。 2回の平常試験を総合した結果に応じて追再試験を行う。追再試験の日程は平常試験2の終了後と後学期授業開始前までとし、該当者と日程を掲示板にて提示する。 授業時間の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	障害者歯科学は幅広い知識を必要とされるため、授業だけでは理解が難しい場合があります。下記オフィスアワーにいつでも教授室および研究室に来てください。 オフィスアワー：9時から19時

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/09 (月) 1時限 09:00～10:30	障害の概念と実態 およびノーマライゼーション	<p>【授業の一般目標】 ノーマライゼーションの理念に基づいた障害者歯科医療の意義を理解するために、社会的背景に即した「障害の概念」を理解し、日本における障害者の実態とノーマライゼーションについての基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 障害の概念を説明できる。 2. 国際障害分類、国際生活機能分類について説明できる。 3. 障害者基本法における障害者について説明できる。 4. 障害の認定と障害者に関する人口動態について説明できる。 5. ノーマライゼーションの概念について説明できる。 6. バリアフリーの意味を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 歯科医療においてスペシャルニーズが存在することを知る。 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版（医歯薬出版）P. 2-16、24、25を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 a 疾病・障害の概念・構造 (社会的関わり)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 d ノーマライゼーション、バリアフリー f 国際生活機能分類<ICF>、国際障害分類<ICIDH> 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 e 障害の概念と対応 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 a 現状、動向</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。</p>	野本 たかと

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/09 (月) 1時限 09:00～10:30	障害の概念と実態 およびノーマライ ゼーション	B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑦社会環境 (ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life <QOL>)の考え方を説明できる。	野本 たかと
2018/04/16 (月) 1時限 09:00～10:30	障害と社会保障の 概念からみた福祉 と障害者歯科の基 本的理念	<p>【授業の一般目標】 環境の変化に伴って多様化する障害者歯科医療の特殊性を理解するために、障害者に関する社会保障の概念からみた社会福祉政策についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 福祉におけるニーズとディマンズについて説明できる。 2. 障害者と社会保障について説明できる。 3. 医療福祉と障害者歯科の基本的理念について説明できる。 4. 障害者歯科の成り立ちと現状について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 障害者に関する法律について説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版 (医歯薬出版) P. 9-25を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ウ 保健・医療・福祉・介護の法規と制度 c 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL <quality of life> e 患者・障害者の心理と態度 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 a 社会保障制度 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 オ 障害者の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ③障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。</p>	伊藤 政之
2018/04/23 (月) 1時限 09:00～10:30	具体的な障害の概 要と口腔の特徴そ の1	<p>【授業の一般目標】 ライフステージと障害の発生についての知識を修得する。 胎生期から発達期における障害についての基本的知識を修得する。 それぞれの障害に見られる口腔の形態および機能の特徴と口腔疾患についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ライフステージと発生する障害との関係性について説明できる。 2. 知的障害の概要と口腔の特徴について説明できる。 3. 法律でいう発達障害の概要と口腔の特徴について説明できる。 4. 発達期における肢体不自由の原因となる身体障害の概要と口腔の特徴について説明できる。 5. 発達期の障害者の合併症として多いてんかんについての概要と口腔の特徴について説明できる。 6. 発達期の障害者の合併症に多い先天性心疾患の概要と歯科治療上の配慮について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 障害者基本法に定められた障害者とは何かを説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版 (医歯薬出版) P. 44-71, 89-91, 93-105, 163-168を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	遠藤 眞美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/23 (月) 1時限 09:00～10:30	具体的な障害の概要と口腔の特徴その1	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 c 障害の種類と支援</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 障害者の歯科治療 ア 基本的対応 a 一般的対応 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 オ 歯科治療上留意すべき事項</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。</p>	遠藤 眞美
2018/05/07 (月) 1時限 09:00～10:30	具体的な障害の概要と口腔の特徴その2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>感覚器障害、音声言語障害、精神障害についての基本的な医学的・歯学的知識と歯科診療上の配慮についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 先天および後天性の感覚器障害の概要と口腔の特徴について説明できる。 2. 音声言語障害の概要と口腔の特徴について説明できる。 3. 精神障害の概要と口腔の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目： ライフステージにおける障害の発生について説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P.106-119, 120-126, 147-162を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 c 障害の種類と支援</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ア 内因、外因 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 キ 心理、精神機能 ク 神経系、感覚器系 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 5 高齢者等に関連した歯科診療 オ 構音障害に対する対応 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 オ 歯科治療上留意すべき事項 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 e 精神障害と歯科保健</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。 E-5-3) 精神・心身医学的疾患 ①心身相関を説明できる。</p>	遠藤 眞美
2018/05/14 (月) 1時限 09:00～10:30	障害と外表奇形	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顎顔面領域に形態・機能異常を伴いやすい障害者（特に症候群）に対応するための専門的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 先天異常と先天奇形について説明できる。 2. 顎顔面領域における形態・機能異常と外表奇形について説明できる。</p>	野本 たかと

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/14 (月) 1時限 09:00～10:30	障害と外表奇形	<p>3. 障害者歯科医療の場で遭遇することの多い症候群について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 口腔・顎・顔面の正常発達を説明できる。 2年次における組織・発生学の授業における顎顔面領域に関する項目ならびにスペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P.168-200を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 g 先天異常</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 g 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患 a 先天異常 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常及び後天異常 ①口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。 ②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。</p>	野本 たかと
2018/05/21 (月) 1時限 09:00～10:30	具体的な障害の概要と口腔の特徴その3	<p>【授業の一般目標】 多種多様化する障害者への適切な歯科医療提供のために、中途障害（神経疾患、内部疾患、脳・神経疾患）および難病に関する基本的な医学的・歯学的知識と歯科診療上の配慮についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 中途障害（脊髄損傷、神経疾患）の概要と口腔内の特徴について説明できる。 2. 内部疾患の概要と口腔内の特徴について説明できる。 3. 脳血管障害の概要と口腔内の特徴について説明できる。 4. 難病の概要と口腔の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 日本における障害者の人口動態と社会的環境を説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P.71-93, 163-205を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 カ 障害児・障害者の保健・福祉 c 障害の種類と支援</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ケ 内分泌系(代謝、栄養を含む) 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 障害者の歯科治療 イ 歯科治療上留意すべき事項 a 環境への適応性 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態</p>	梅澤 幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/21 (月) 1時限 09:00～10:30	具体的な障害の概要と口腔の特徴その3	ア 疾病の概念 k 精神・神経疾患 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 オ 歯科治療上留意すべき事項 6 全身疾患を有する者への対応 イ 身体的特徴 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。 ②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。	梅澤 幸司
2018/05/28 (月) 1時限 09:00～10:30	障害者歯科医療提供の導入	【授業の一般目標】 適切な障害者歯科医療を提供する際に基本となる導入の重要性を理解するために、患者評価の意義とその方法についての基本的知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 障害と身体発達について説明できる。 2. 初診時における情報収集について説明できる。 3. 発達レベルの把握に必要な検査について説明できる。 4. コミュニケーション法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 正常な小児の行動発達の特徴を説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版 (医歯薬出版) P.9-12, 31-33, 208-219, 277-279を熟読する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 b 発育期の特徴 9 診察の基本 エ 全身の診察 a 全身の外観 (体型、栄養、姿勢、歩行、発声) 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 イ 発育区分における成長・発達の評価 c 精神発達の評価法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を説明できる。 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	田中 陽子
2018/06/04 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験1・解説講義	【授業の一般目標】 平常試験1までに行われた授業内容を理解し、知識を修得できているか確認し自己評価が出来る。 【行動目標 (SBOs)】 1. 障害の概念と障害者の置かれた社会環境について説明できる。 2. 障害者と社会福祉について説明できる。 3. 障害の原因疾患について概念と病態について説明できる。 4. 主な障害の具体的な概要と口腔の特徴について説明できる 5. 障害者歯科の特殊性について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目： 平常試験1までの講義内容を理解出来る。 準備学習時間：270分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略 (LS)】 講義	野本 たかと 伊藤 政之 遠藤 眞美 梅澤 幸司 田中 陽子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/04 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験1・解説 講義	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	野本 たくと 伊藤 政之 遠藤 眞美 梅澤 幸司 田中 陽子
2018/06/11 (月) 1時限 09:00～10:30	障害者における心理発達と行動特性	<p>【授業の一般目標】 障害者における行動特性を理解するために、その背景にある心理学的手法についての基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 心理発達について説明できる。 2. 障害者の心理発達と障害受容の関係について説明できる。 3. 歯科医療に関わる障害者の心理特性と行動特性について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 正常な行動発達について理解し、表出される行動を評価する方法について説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P. 2-16, 34-37, 228, 232を熟読すること 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 イ 発育区分における成長・発達の評価 c 精神発達の評価法 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 a 発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期） 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 ウ 行動調整 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア 全身状態の評価 c 心理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	田中 陽子
2018/06/18 (月) 1時限 09:00～10:30	歯科治療時における行動調整	<p>【授業の一般目標】 障害者への適切な歯科医療提供の基本である行動調整法を理解するために、その基礎となる理論についての基本的知識ならびに実際の診療場面での方法についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 行動調整法の基礎となる理論の存在について説明できる。 2. 行動調整法の基礎となる理論とその心理学的手法について説明できる。 3. 行動調整法の基礎となる理論の成り立ちと発展について説明できる。 4. 薬物を用いない行動調整法について説明できる。 5. 薬物を用いた行動調整法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 障害と心理特性について説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P. 208-244を熟読する。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	伊藤 政之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/18 (月) 1時限 09:00～10:30	歯科治療時における行動調整	<p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 オ 障害者の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 障害者の歯科治療 イ 歯科治療上留意すべき事項 a 環境への適応性 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア 全身状態の評価 d 行動</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ②障害者の行動調整（行動管理）と歯科治療に必要な注意点を説明できる。 ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。 ③障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑧行動変容と行動療法を概説できる。</p>	伊藤 政之
2018/06/25 (月) 1時限 09:00～10:30	障害者の歯科治療と医療安全	<p>【授業の一般目標】 安全で質の高い歯科医療提供するために、具体的な歯科治療における配慮と治療計画、治療法についての知識を修得する。 誤飲、窒息、誤嚥性肺炎など生命に関わる医療事故の起こりやすい状況であることを認識し、その予防策と対応法についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科治療における配慮の必要性について説明できる。 2. 障害者における口腔疾患に対する治療計画ならびに治療法について説明できる。 3. 障害者の歯科治療場面で発生しやすい医療事故について説明できる。 4. 呼吸器疾患、免疫異常、姿勢の異常など患者側の環境と医療事故の関係性について説明できる。 5. 医療事故の予防策と対応法について説明できる。 6. 障害者への歯科治療の提供と感染防御策の重要性の関係について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 健常者における歯科治療上の配慮について説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P. 277-326を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 オ 歯科治療上留意すべき事項 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候 エ 誤嚥性肺炎 a 呼吸器疾患 7 障害者の歯科治療 イ 歯科治療上留意すべき事項 b 姿勢・異常反射 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理（誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護） d 医療者の安全管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ③障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-6 医療の質と安全管理</p>	田中 陽子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/25 (月) 1時限 09:00～10:30	障害者の歯科治療と医療安全	A-6-1) 安全性の確保 ①医療上の事故等の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー等)を説明できる。 ②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。 ⑦歯科医療における事故の具体例を列挙できる。 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。	田中 陽子
2018/07/02 (月) 1時限 09:00～10:30	障害者への健康支援 ー口腔管理ー	【授業の一般目標】 口腔および全身疾患の発症リスクが高い障害者における口腔管理の重要性を理解するために、口腔疾患予防の方法と工夫についての知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.口腔疾患と全身疾患の関連性について説明できる。 2.障害者における口腔疾患予防の重要性について説明できる。 3.障害者における口腔疾患予防のための具体的な手法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 口腔機能について説明できる。 口腔機能と全身機能の関係性について説明できる。 口腔のセルフケアを説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版(医歯薬出版)P.245-276を熟読する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 障害者の歯科治療 エ 口腔保健指導 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み イ 口腔と全身の健康増進 a 口腔の環境・機能 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 エ 口腔健康管理 b 口腔機能維持向上のための口腔のケア 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 障害者の歯科治療 エ 口腔保健指導 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ④障害者の口腔ケア及び口腔衛生指導を説明できる。	遠藤 眞美
2018/07/09 (月) 1時限 09:00～10:30	摂食嚥下機能障害のリハビリテーション その1	【授業の一般目標】 摂食嚥下障害の理解のために、正常な摂食嚥下機能の知識について習得する。 【行動目標(SBOs)】 1.食べることの意義を説明できる。 2.哺乳動作を説明できる。 3.摂食嚥下機能の発達とその獲得順序・段階を説明できる。 4.摂食嚥下動作時の各器官の役割りを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 心身機能の正常な成長・発達について説明できる。 正常な口腔機能について説明できる。 2年次解剖学、組織・発生学における顎顔面領域の授業内容 スペシャルニーズデンティストリー第2版(医歯薬出版)P.127-146を熟読する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論	三田村 佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/09 (月) 1時限 09:00～10:30	摂食嚥下機能障害 のリハビリテーシ ョン その1	<p>総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 イ 摂食嚥下障害 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 カ 健康支援、患者管理 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 5 顎・口腔領域の疾患の予防 ア 生活習慣指導 b 栄養障害の予防</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ⑤発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。 ⑥発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。</p>	三田村 佐智代
2018/07/21 (土) 1時限 09:00～10:30	摂食嚥下機能障害 のリハビリテーシ ョン その2	<p>【授業の一般目標】 摂食嚥下障害の病態と全身疾患との関連を理解し、リハビリテーションに必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 発達期の障害者にみられる摂食嚥下障害の病態とその原因について説明できる。 2. 発達期の障害者に対する摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 3. ライフステージにおける摂食嚥下障害について説明できる。 4. 中途障害および高齢障害者に対する摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 5. 摂食嚥下障害に起因する全身疾患について説明できる。 6. サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドロームと口腔機能の関連性について説明できる。 7. 栄養管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 正常な摂食嚥下機能について説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P.127-146を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 シ 口腔機能のリハビリテーション b 口腔機能管理 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 6 摂食嚥下障害への対応（摂食機能療法） ア 治療的アプローチ a 間接訓練 b 直接訓練 イ 代償的アプローチ ウ 環境改善的アプローチ エ 心理的アプローチ オ 栄養療法 4 高齢者等に関連した予防と管理 イ フレイル予防のための歯科保健管理 b 口腔機能管理 c 栄養管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ⑧摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。</p>	三田村 佐智代
2018/07/23 (月) 1時限 09:00～10:30	障害者のための地 域歯科医療システ ム	<p>【授業の一般目標】 地域包括ケアシステムにおける歯科医師としての重要性を理解するために、地域連携に必要な基本的知識を修得する。</p>	梅澤 幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	障害者のための地域歯科医療システム	<p>【行動目標（SBOs）】 1. 地域医療の重要性について説明できる。 2. 介護保険サービス、社会福祉サービス、医療保険の関係性について説明できる。 3. 障害者歯科医療に携わる医療機関について説明できる。 4. 地域医療連携における歯科の役割について説明できる。 5. チーム診療について説明できる。 6. 訪問歯科診療について説明できる。 7. 周術期の患者に対する医療連携と歯科の役割について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 日本における医療制度について説明できる。 障害者の地域社会における共生について説明できる。 スペシャルニーズデンティストリー第2版（医歯薬出版）P.26-37を熟読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 地域歯科保健活動での職種連携</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 8 在宅医療、在宅支援 ア 訪問歯科診療 a 訪問歯科診療器材 b 保健指導 イ 多職種協働 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携 b 医科歯科連携 c 病診連携 d 医療チームの構成員と役割 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 オ 高齢者保健、高齢者歯科保健 e 日常生活支援事業、介護予防</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 G 臨床実習 G-4 チーム医療・地域医療 ①地域医療・地域保健（在宅医療（訪問歯科診療を含む）、地域包括ケアシステム）を経験する。 ②病診連携、疾病連携を経験する。 ③多職種連携（歯科衛生士、歯科技工士、医師、薬剤師、看護師、その他の関連職種並びに介護職）によるチーム医療を経験する。</p>	梅澤 幸司
2018/08/27（月） 1時限 09:00～10:30	平常試験2・解説 講義	<p>【授業の一般目標】 平常試験1以降の講義内容が習得されたかを自己評価をすることができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 障害者における心理発達と行動特性について説明できる。 2. 歯科治療時における行動調整 3. 障害者の歯科治療と医療安全について説明できる。 4. 障害者における口腔管理の重要性と具体的手法について説明できる。 5. 摂食・嚥下リハビリテーションについて述べられる。 6. 障害者歯科における地域医療連携システムについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 平常試験1以降の講義内容について理解できる。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	野本 たかと 田中 陽子 伊藤 政之 遠藤 眞美 三田村 佐智代 梅澤 幸司